

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	平良 昭一(おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 知事の政治姿勢について

- (1) 2019年2月の普天間飛行場運用停止について伺う。
- (2) アジア経済戦略構想推進について伺う。
- (3) 政府との集中協議について伺う。
- (4) 公約実現に向けた取り組みについて
ア 万国津梁会議について伺う。
イ 規制緩和、制度改革について伺う。
ウ 観光・環境協力税について伺う。
エ 琉球歴史文化の日制定について伺う。

(5) 県民投票について伺う。

(6) 訪米の成果と課題について伺う。

2 文化観光スポーツ部関係について

- (1) 沖縄県のキャンピングカー観光対策について伺う。
- (2) 那覇空港第2滑走路について
ア 機能アップ、離着陸本数はどう変わるのか伺う。
イ 経済団体からのターミナル移転の要望もあるが、それ以前に米軍・自衛隊の空域制限をクリアしないとイケないと思うがその対策について伺う。
- (3) 那覇—北部間高速艇実証実験について伺う。

3 保健医療部関係について

- (1) 民泊新法施行後の対応について伺う。
- (2) 北部基幹病院について伺う。
- (3) 内閣府が行う企業主導型保育施設について
ア 現行施設との基準の違いについて伺う。
イ 企業主導型保育施設予算執行の問題点などが報告されているがその対応を伺う。
- (4) 外国人観光客の医療費未払い問題の対応について伺う。
- (5) 激増する台湾ンハブ対策について伺う。

4 土木建築部関係について

- (1) 公園等公共施設及び県管理道路における除草剤散布について伺う。
- (2) 伊平屋空港について伺う。
- (3) 本部港塩川地区の修復予定と今後の対応について伺う。
- (4) 国道449号屋部地域の台風被害と対策について伺う。

5 公安委員会関係について

- (1) 不正薬物・密輸防止策について
ア 外国人観光客増加での水際作戦防止対策状況を伺う。
イ 不正薬物の摘発量及び摘発件数を伺う。

ウ 関係機関の連携体制はどうか伺う。

エ 本土では金塊の密輸が多くなっているが県の状況はどうか伺う。

6 環境部関係について

(1) 闘犬飼育について

ア 危険な闘犬種や大型犬の逃走が相次いでいるが、その飼育基準について伺う。

イ 闘犬の過去5年間の逃走件数、人身被害状況、飼育対策と防止策について伺う。

7 難視聴地域受信対策について伺う。

8 今帰仁城跡城壁崩落について伺う。

9 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	山内 末子(無所属)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) ノーレイン、ノーレインボー雨が降るから虹が出る。未来への歩みを進み始めて2カ月、県民の期待と政府の冷遇があからさまな中、これからの県政運営にかける決意を伺う。
- (2) 選挙戦を通して、知事の周りの若者の笑顔がはじめていたのがとても印象深い。政治離れの若者がふえる中、沖縄の未来を背負っていく若者たちへ何を期待し、何を残していきたいか所見を伺う。
- (3) 知事訪米の成果の一つとして国連軍縮トップとの面談が上げられるが、その中で「沖縄を平和の緩衝地帯に」との提言がある。そのコンセプトを伺う。また、今後の方向性としてどのような示唆を受けたのか感触について伺う。
- (4) 万国津梁会議設置の目的、沖縄21世紀ビジョンとの整合性、設置に向けてのスケジュールについて伺う。
- (5) 基地政策の抜本的解決策について、具体的な総合プログラムの作成が必要だと考えるが知事の見解を伺う。
- (6) ワシントン事務所の運用について、これまでの成果と今後のあり方について大幅な見直しも含めて知事の見解を伺う。

2 大学院大学について

- (1) 創立から7年がたつが沖縄県との連携の中でイノベーションの具体的事例と今後の展望を伺う。
- (2) OISTとの連携の中で見られる人材交流実績と将来的な人材育成の展望について伺う。

3 教育・福祉行政について

- (1) 幼児・児童虐待問題について
 - ア 県内の実態と全国比を伺う。
 - イ さまざまな課題改善、対応策を講じる上で虐待防止条例の制定が急がれる。その計画について伺う。
- (2) 性の多様性の問題について
 - ア 「沖縄県LGBT宣言」の実現性、マイノリティの尊重と共生の環境整備をどのように構築していくのか伺う。
- (3) 未婚の母の寡婦控除のみなし適用について、本県の実施状況と対策を伺う。
- (4) 県立高校生の中途退学者の実態と対策について伺う。
- (5) 本県の私立通信制高校の学校数、生徒数、就学支援状況を伺う。
- (6) 入管難民法改正で外国人労働者の受け入れ、働き方の問題が浮き彫りになっている。県の実態と県内の日本語学校の実態、留学生労働の状況を伺う。

4 総務行政について

- (1) ふるさと納税について、これまでの実績額とその成果、今後の方向性について伺う。

5 エネルギー政策について

- (1) 電力自由化について、県内の自由化の状況と本土との比較を伺う。
- (2) ものづくり産業振興への安定したエネルギー提供として電力自由化が挙げられているが、遅々として進行しない要因について見解を伺う。

6 観光振興について

(1) 好調な沖縄観光だが、やみくもな開発を避け将来的にも沖縄の自然・文化が生かされ、観光資源として保存継承していくための施策を伺う。

(2) 観光闘牛について

ア 闘牛がうるま市の文化財として指定され、伝統文化としても観光資源としても注目されている。全国に向けさらに発信していくためにも沖縄県の文化財指定に期待がかかる。認識を伺う。

7 おきなわ技能五輪、アビリンピック2018について

(1) おきなわ大会の概要と総括、今後の取り組みを伺う。

(2) 県内の障害者雇用の状況と課題を伺う。

8 辺野古新基地建設問題について

(1) 新基地建設に係る予算について2兆5000億という膨大な予算額が示されたが、その算定根拠を伺う。

(2) 国地方係争処理委員会へ審査を申し出たが、前回との違い、今後の方向性について見解を伺う。

(3) 国は塩川港の使用が困難とし、民間棧橋からの搬出の計画をもくろんでいるようだが、使用協定や目的外搬出等問題はないのか伺う。

(4) 集中協議の中で「県土保全条例改正」の検討が示されたようだが、その真意と実効性について伺う。

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	新垣 光栄(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 玉城知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県知事就任から2カ月余りが経過しました。さきの知事訪米の目的と成果について伺います。</p> <p>(2) 国と県の間で続けてきた1カ月間の集中協議の締めくくりとして行われたトップ会談は物別れに終わったが、戦略と成果について伺う。</p> <p>(3) 日米地位協定の見直しを実現しない限り、沖縄の基地問題の抜本的な解決、北方領土返還交渉は困難と思うが、知事の所見を伺う。</p> <p>2 玉城知事の公約について</p> <p>(1) 東海岸地域の地域資源を生かしながら、大型MICE施設を核としたにぎわいを東海岸一帯につなげていく「サンライズベルト構想」について</p> <p>(2) 持続可能な世界水準の観光都市沖縄を目指し、導入に取り組む観光・環境税について</p> <p>(3) 子供たちが学業に励むための支援が早急に必要ことから、子供の貧困対策としての中高校生のバス通学無料化について</p> <p>(4) 世界遺産などの貴重な文化空間を共生するまちづくりの核となる中城城跡の旧ホテル跡地について</p> <p>(5) 本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路、県道29号線の拡幅工事と県道32号線、35号線、146号線について</p> <p>3 伝統芸能、伝統工芸の振興について</p> <p>(1) 伝統芸能と伝統工芸の実態はどのようになっているか、伺います。</p> <p>(2) 伝統芸能の観光資源化と伝統工芸品の産業化の取り組みについて伺います。</p> <p>4 スポーツ振興について</p> <p>(1) 空手公認段位制度と空手の日奉納演武について</p> <p>(2) 各スポーツ競技の拠点施設づくりについて</p> <p>(3) スポーツ合宿所の整備について</p> <p>5 県のチョウ(蝶)制定と県花のデイゴについて伺う。</p> <p>6 台風復旧工事について</p> <p>(1) 相次ぐ台風の影響で、被害を受けて災害復旧工事の必要な港湾や護岸の状況について伺います。</p> <p>(2) 国交省及び農水省に対して、県は各地域の災害現場の復旧を迅速に求めているか。また国の査定はどのようになっているか、県の取り組みを伺います。</p> <p>7 墓地行政について</p> <p>(1) 外国人労働者の受け入れを拡大する入管難民法などの改正案が、参議院で審議入りした。今後、在留資格者等の増加によって、宗教上の違いから墓地行政にどのような影響が考えられるか。</p> <p>(2) 沖縄県の特異性に基因する事業として、一括交付金での墓地の用地取得ができるのか。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	宮城 一郎(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 平成29年度に実施された那覇空港観光案内所の実証実験について</p> <p>(1) 実証実験事業としての平成29年度の成果と反省、及び結果を受けて、平成30年度は本格導入となったのか。試験継続か。あるいは廃止したのか。</p> <p>2 住宅宿泊事業法(民泊新法)施行について</p> <p>(1) 沖縄観光における民泊に期待する役割、可能性について県の考えを伺う。</p> <p>(2) 6月の住宅宿泊事業法施行以後、県内の民泊事業届け出件数の状況を伺う。また、施行以前、県が把握していたインターネット仲介サイトの掲載件数と比較した所見もあわせて伺う。</p> <p>(3) 一方、県内旅館業法申請件数、特に簡易宿所について、住宅宿泊事業法施行以前と以後の状況を伺う。</p> <p>3 大型MICE施設について</p> <p>(1) 基本設計に対する一括交付金交付の状況を伺う。</p> <p>(2) 本事業推進に際し、これまでの県の取り組みを伺う。</p> <p>4 好調が続く沖縄観光について</p> <p>(1) OCVBnews「おきなわ観光天気予報(予測)」による今後の観光景気動向を解説いただきたい。</p> <p>(2) 沖縄観光景気動向の2018年度の着地見込み及び2019年度の展望を伺う。</p> <p>5 平成33年度の導入を検討している観光目的税について</p> <p>(1) 税徴収の方法、使途などについて、現時点までの議論経過を伺う。</p> <p>(2) 徴収方法として考えられる業界・団体との意見交換はどのような感触か伺う。</p> <p>6 泡盛原酒について</p> <p>(1) 泡盛原酒とは何か。定義、品目、流通状況などを伺う。</p> <p>(2) 沖縄白酒「王国貢酒」と銘打ち、泡盛原酒の中国への販路拡大が始まった。泡盛の出荷量減少が続く現状でのこの新しい展開をどのように考えているか所感を伺う。</p> <p>7 米海兵隊普天間基地における残留性有害物質の高濃度汚染について</p> <p>(1) 昨年11月の答弁では、「米海兵隊に対しては、沖縄防衛局を通して、PFOS等の原因を確認するための調査について調整する場の設定を要請している。」とのことであったが、その後進捗、あるいは結果を伺う。</p> <p>8 沖縄における在日米軍施設・区域における統合計画、返還条件について</p> <p>(1) 返還8条件の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 「普天間代替施設では確保されない長い滑走路を用いた活動のための緊急時における民間施設の使用の改善」について伺う。</p> <p>9 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	渡久地 修(日本共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 沖縄の米軍基地について

- (1) 米国防総省「基地構造報告」によると、米軍は海外基地数を縮減しているが日本だけ不変となっている。辺野古埋立計画を決定した2006年と比較して、世界全体とドイツ、イタリア、日本における縮減数と割合と見解を問う。
- (2) 沖縄は世界で最も米軍基地が集中した異常な地域になっている。沖縄単独で、日本、ドイツに次いで米軍基地が集中する韓国を大きく上回っている。米軍基地面積と資産価値について、沖縄県と韓国、英国、イタリアとの比較と見解を問う。
- (3) 米国が日本の基地を撤去しない理由について
ア 米軍への思いやり予算などで「米国より日本に置いておくほうが安上がりだから」ではないか。
イ 日米地位協定によって米軍にとっては何の制約もないからではないか。
- (4) この実態を県民、国民、米国と世界の人々に知らせる対応が必要ではないか。

2 辺野古新基地建設について

- (1) 建設費用は限りなく膨らんでいくと思うが、現時点での県の試算について問う。
- (2) 県の振興予算の何年分に相当するか。
- (3) 2%の消費税増税総額は幾らか。県の試算によると、消費増税分2兆円は辺野古新基地建設で消えてなくなることになる。最大の無駄遣いではないか。
- (4) 沖縄振興予算は減らし、県民が反対している新基地を莫大な税金で建設する無駄遣いは許されない。県民が望んでいるのは子供の貧困対策を初め福祉、医療、教育予算の大幅増額であるが見解を問う。

3 普天間基地を直ちに運用停止させることについて

- (1) 日本政府が約束した普天間飛行場の来年2月までの運用停止について、日本政府が米政府と交渉した形跡はあるのか。
- (2) 玉城デニー知事は、訪米で米国政府も当事者であることを強調したと思うが、日本政府が交渉していない以上、一方の当事者である沖縄県から、「日本政府と沖縄県で普天間飛行場の5年以内の運用停止について約束している。その期限は来年の2月です。米国政府、在日米軍司令部として実行してほしい」と玉城デニー知事名で米国政府と在日米軍司令部に正式に通知すべきである。

4 日米地位協定について

- (1) この協定は、米国への従属を意味しているのではないか。
- (2) 全国知事会が抜本改定を全会一致で決議し、政府に提案した。佐賀県議会も続いて決議した。沖縄県として、決議実現への行動を全国知事会に働きかけるべきではないか。

5 基地から自立した沖縄経済について

- (1) 復帰時点と今日との県経済に占める米軍基地関連収入はどうなっているか。基地だったときと返還された今日の経済効果、雇用効果について、小禄金城地区、新都心、ハンビー地区のそれぞれについて問う。
- (2) 普天間基地が返還されたらどのような経済効果、雇用効果があるか。
- (3) 基地を返還してもらったほうが、沖縄経済は発展するということが明らかになっているのではないか。

- (4) これからの沖縄経済の発展方向をどのように描いているのか。
- 6 県土保全条例について
 - (1) 条例が制定された趣旨、目的を問う。
 - (2) 自然環境の保全、次世代に継承するという21世紀ビジョンを実現するための改正趣旨と思うが見解を問う。
- 7 県議会総務企画委員会は、離島自治体の視察を進め、これまで11の離島自治体を視察調査してきた。玉城デニー知事も15の離島自治体全ての視察調査を順次実施すべきと思うが見解を問う。
- 8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成30年第8回沖縄県議会(定例会)

12月11日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	崎山 嗣幸(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 岩礁破碎の裁判について 県は辺野古新基地建設工事は県知事の許可のない岩礁破碎は違法だとし、国を相手に工事差し止め訴訟を起こした。しかし、一審の那覇地裁の判決は審理することなく「県の訴えは裁判の対象にならない」として却下された。県は、漁業権が存在し、埋立工事に伴う岩礁破碎行為は知事の許可が必要との立場に立って、福岡高等那覇地裁に控訴していた。この裁判の判決が12月5日言い渡されるとのことである。県の所感と今後の対応策を伺う。</p> <p>2 米軍の訓練空域の拡大について 米海軍のF15戦闘機やF18戦闘機の墜落事故は、県民を不安と恐怖に落とし込んだ。このような事態は、米軍の訓練空域が既存の訓練空域に加え臨時制限空域を新設し、常態化させていることに要因はないか伺う。また、県は日米地位協定の抜本改定を求め、航空法の特例に関する法律を廃止し、国内法を守らせる取り組みを強く求めるべきではないか伺う。</p> <p>3 「学徒隊の碑」の補足板設置について 県は、「元全学徒の会」から要請を受けて、犠牲者数を記した補足板の設置の方針を決めた。補足板設置の経緯と設置内容を伺う。</p> <p>4 美ら島水族館・首里城有料区の県移管について 県は、指定管理者として両施設とも美ら島財団に選定しているが、事業計画、収支計画等を伺う。</p> <p>5 糸満及び泊漁港流通拠点について (1) 糸満における高度衛生管理型荷さばき施設等実施設計の策定を伺う。 (2) 泊漁港を消費地市場としての再整備計画を伺う。 (3) 31年度の国庫概算要求の見通しを伺う。</p>			